

高齢者の外科的処置時の注意点

我が国は、今や超高齢社会を迎えており、近い将来歯科医院の患者さんは高齢者ばかりという時代になることでしょう。

高齢者は基礎疾患を有していることが多く、治療中に基礎疾患が悪化したり、急性発作を起こしたりする恐れがあります。また多くの薬剤が処方されており、併用禁忌や相互作用に対する注意も必要です。また、在宅患者に対する訪問診療の場合は、通院できない全身状態であるという点で自院内での処置以上にリスクが高いといえます。

今後の診療においては、高齢者の全身的な偶発症を予防し、安全に歯科治療を行うことは重要な課題です。今回、高齢者の歯科治療、観血処置を行う上で注意すべき点について、実践的なポイントについてお話致します。(講師談)



講師

公立学校共済組合 九州中央病院 歯科口腔外科

顧問 堀之内 康文 氏

昭和57年 3月 九州大学歯学部卒業
同年 6月 九州大学歯学部第二口腔外科医員
昭和61年 10月 九州大学歯学部第二口腔外科助手
平成11年 10月 九州大学歯学部附属病院高度先端治療部顎変形症治療室長を併任
平成14年 8月 公立学校共済組合 九州中央病院 歯科口腔外科部長
令和 5年 4月 同上 顧問

2023年 9月 2日 土 18時～20時

WEB

Zoomウェビナー

会場

くまもと県民交流会館パレア
会議室7
(熊本市中央区手取本町8番9号)
※定員40名(先着順)

参加対象

歯科医師、歯科医療スタッフ

お申し込みはこちら

(事前申込制・参加費無料) 8/31(木)まで

QRコードをスマホ等で読み取って必要事項を入力
のうえ、お申込みください。
QRコードからお申込みが
できない場合は、お電話
でも受付いたします。



<http://bit.ly/44gNJM6>

主催 一般社団法人 熊本県保険医協会

TEL096-385-3330 E-mail kumamoto-hok@doc-net.or.jp



LINE公式アカウント
友だち募集中!